

おサイフケータイ

おサイフケータイ／トルカについて

おサイフケータイは、ICカードが搭載されておりお店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけでお支払いなどができる機能です。さらに、通信を利用して電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認することができます。また、安心してご利用いただけるよう、セキュリティも充実しています。

トルカとは、おサイフケータイで取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。トルカは読み取り機やサイト、データ放送などから取得が可能で、メールや赤外線通信、iC通信、microSDカードを使って簡単に交換できます。取得したトルカは「おサイフケータイ」の「トルカ」内に保存されます。

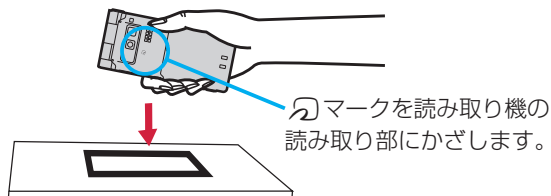
おサイフケータイ、トルカの詳細については、「ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)」をご覧ください。

- FOMA端末の故障により、ICカード内データ(電子マネー、ポイントなど含む)が消失・変化してしまう場合があります(修理時など、FOMA端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので原則データをお客様自身で消去していただきます)。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、iCお引っこしサービスによる移し替えを除き、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるサービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- FOMA端末の盗難・紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。



1 FOMA端末の マークを読み取り機にかざして、目的のサービスを利用する

FOMA端末を読み取り機に近づけて通信が可能な状態になると着信／充電ランプが点灯します。



i コンシェル

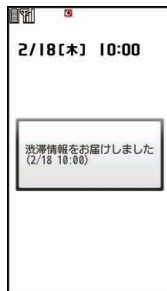
「i コンシェル」とは、執事やコンシェルジュのように、お客様の生活をサポートするサービスです。お客様のさまざまなデータ（お住まいのエリア情報、スケジュール、トルカ、電話帳など）をお預かりし、生活エリアやお客様の居場所、趣味趣向にあわせた情報を適切なタイミングでお届けします。また、FOMA端末に保存されているスケジュールやトルカを自動で最新の情報に更新したり、電話帳にお店の営業時間などの役立つ情報を自動で追加します。i コンセルの情報は、待受画面上でマチキャラ（待受画面上のキャラクター）がお知らせします。

- i コンセルはお申し込みが必要な有料サービスです。（お申し込みには i モードの契約が必要です）
- ケータイデータお預かりサービスのご契約をされていないお客様が、i コンセルを新たにご契約になる場合、同時にケータイデータお預かりサービスにもご契約いただいたこととなります。
- コンテンツ（インフォメーション、i スケジュールなど）によっては、i コンセルの月額使用料のほかに、別途情報料がかかる場合があります。
- インフォメーションの受信には一部を除いて別途パケット通信料がかかります。
- 詳細情報のご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 国際ローミングサービスご利用の際は、受信・詳細情報の閲覧共にパケット通信料がかかります。また、海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。
- i コンセルを海外でご利用になる場合は海外利用設定が必要となります。
- i スケジュール・トルカ・電話帳の自動更新時には別途パケット通信料がかかります。
- i コンセルの詳細については「ご利用ガイドブック（i モード＜FOMA＞編）」をご覧ください。



インフォメーションを受信する

- 1 インフォメーションを受信すると「」が点滅し、待受画面に内容が表示される

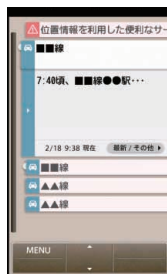


- 2 メッセージを選択

i コンシェルを表示する

- 1 待受画面で  ▶ i コンシェル

- 2 インフォメーションを選択



便利ツール

スケジュールを利用する

- 1 待受画面で 
▶ ステーションナリー
▶ スケジュール

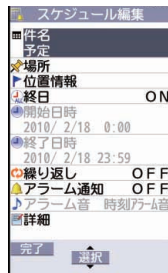
日付を選択すると選択した日付のスケジュールが表示されます。スケジュールを選択すると内容を確認できます。



- 2  (機能) ▶ 「新規登録」を選択

新しくスケジュールを登録します。

- 3 各項目を入力



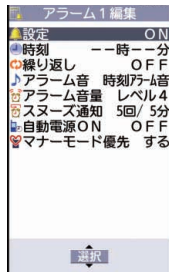
- 4  (完了)を押す

アラームを利用する

1 待受画面で **MENU** ▶ **ステーションリー**
▶ **アラーム**

2 アラームを選んで **編集** を押す

3 各項目を入力



4 **完了** を押す

- 公共モード(ドライブモード)中、オールロック中、パーソナルデータロック中、おまかせロック中はアラーム音は鳴りません。

バーコードリーダーを利用する

アウトカメラを使ってQRコードなどを読み取り、データとして登録できます。

データを使って電話をかけたり、iモードメールの作成、インターネット接続などができます。

■バーコードリーダーで読み取りを行うときは

- できるだけコードがガイド枠内に大きく写るようにします。
- オートフォーカスは約10cm以上の距離でフォーカスが合います。フォーカスが外れた状態で読み取りを行った場合は、認識率が低下します。
- コードに対してカメラが平行になるようにして読み取ってください。



■QRコードとは

縦・横方向でデータを表現している二次元コードの1つです。

- FOMA端末で読み取ると「株式会社NTTドコモ」と表示されます。



■コード読み取り

<例>右記のQRコードを利用して
P-SQUAREに接続する



サイト接続用QRコード

- 1 待受画面で **MENU** ▶ **LifeKit**
▶ **バーコードリーダー**
- 2 「コード読み取り」を選択
- 3 コードをガイド枠に合わせて **Q** を押す
オートフォーカス機能でフォーカスが合います。
- 4 **Q** (**開始**) を押してコードを読み取る
読み取り結果としてURLが表示されます。
- 5 URLを選択 ▶ 「iモードブラウザ」を選択
▶ 「YES」を選択

歩数計を利用する

FOMA端末を持ち歩いている間の歩数を計測し、計測結果に基づいて歩行距離や消費カロリー、脂肪燃焼量を表示します。

■歩数計利用時のご注意

- 時計設定を行っていない場合は、利用できません。
- キャリングケースL 01 (別売)に入れるときは、キャリングケースを腰のベルトなどに装着してください。
- かばんなどに入れるときは、固定できるポケットや仕切りの中に入れてください。

■計測について

- 計測値はあくまで目安としてご活用ください。
- 電源が入っていないときやソフトウェア更新中は計測されません。
- 使用状況によっては、歩数が正確に計測されないことがあります。

1 待受画面で **MENU** ▶ **LifeKit** ▶ **歩数計**

歩数の計測履歴が表示されます。

- **機能** を押して、歩数計のON / OFFを設定したり、ユーザ情報を設定したりできます。

データ管理

microSDカードを利用する

microSDカードをお持ちでない場合は、別途お求めいただく必要があります。

- P-01Bでは市販の2GバイトまでのmicroSDカード、16GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています。(2009年10月現在)
- microSDカードの取り付け／取り外しをするときは、必ずFOMA端末の電源を切ってから行ってください。

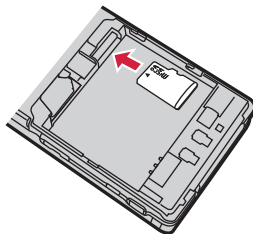


microSDカードの挿入箇所はリアカバー内部にあります。
リアカバーと電池パックを外してから取り付けを行ってください。



microSDカードを取り付ける

- 1 金属端子面を下にし、切り込みの部分が右側になっていることを確認して差し込む



- 「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

microSDカードを取り外すときは


microSDカードをいったん奥まで押し込み、抜き取ります。

- microSDカードを取り付けたり取り外したりするときは、飛び出すことがありますのでご注意ください。



画面表示について



: microSDカード装着中

: データ読み込み／書き込み中
(microSDカードを抜いたり、FOMA端末の電源を切らないでください。)

: ライトプロテクトがかかっています。

: 使用不可
(microSDカードを取り付け直してください。それでもが表示される場合は、「microSDチェックディスク」または「microSDフォーマット」を行ってください。)

microSDカードをフォーマットする

microSDカードを初めて利用するときには、フォーマット(初期化)する必要があります。

- フォーマットは必ずP-01Bで行ってください。パソコンなど他機器でフォーマットしたmicroSDカードは正常に使用できない場合があります。
- フォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

1 待受画面で  ▶ LifeKit ▶ **microSD**
▶ **microSDデータ参照** ▶  (機能)
▶ **microSDフォーマット**

2 端末暗証番号を入力 ▶ 「YES」を選択

■データをmicroSDカードにバックアップする

FOMA端末内に登録している電話帳、スケジュール、ToDo、メール、テキストメモ、ブックマーク、FOMA端末の設定内容・情報を一括してmicroSDカードにバックアップします。バックアップデータをFOMA端末に復元する場合も一括して復元します。

- ・バックアップはバックアップ項目のデータすべてを一括して行うため、データが1件も登録されていない項目もバックアップデータが作成されます。そのようなバックアップデータを復元した場合、バックアップ時にデータが1件も登録されていない項目についても上書きされます。

1 待受画面で LifeKit ▶ microSD ▶ バックアップ／復元 ▶ microSDへバックアップ



2 端末暗証番号を入力 ▶ 「YES」を選択

バックアップデータをFOMA端末に復元するには




1. 待受画面で  LifeKit ▶ microSD ▶ バックアップ／復元 ▶ 本体へ復元
2. 端末暗証番号を入力 ▶ 「YES」を選択

■データをmicroSDカードにコピーする

<例> 静止画を1件コピーする



- 1 待受画面で  データBOX ▶ マイピックチャ ▶ フォルダを選択
- 2 コピーしたい画像を選んで  (機能) ▶ 「microSDへコピー」を選択 ▶ 「1件コピー」を選択

microSDカード内の静止画をFOMA端末に1件コピーするには

1. 待受画面で  データBOX ▶ マイピックチャ ▶  (microSD) ▶ フォルダを選択
2. コピーしたい画像を選んで  (機能) ▶ 「本体へコピー」を選択 ▶ 「1件コピー」を選択

■microSDカード内のデータを表示する

<例> 静止画を表示する

- 1 待受画面で  データBOX ▶ マイピックチャ ▶  (microSD)
- 2 フォルダを選択 ▶ 画像を選択

Bluetooth機能

ワイヤレスイヤホンセット 02(別売)などのBluetooth機器とワイヤレスで接続し、通話や音楽再生機能を利用できます。

Bluetooth機器をFOMA端末に登録する

Bluetooth機器を検索し、FOMA端末に登録します。あらかじめ、登録したいBluetooth機器を登録待機状態にしておきます。

<例>ワイヤレスイヤホンセット 02を登録してハンズフリーサービスで接続する

1 待受画面で  LifeKit ▶ Bluetooth ▶ 新規機器登録

2 「OK」を選択

3 ワイヤレスイヤホンセット 02を選択 ▶ 「YES」を選択

- ワイヤレスイヤホンセット 02以外のBluetooth機器を登録する場合は、「Bluetoothパスキー」を入力する必要があります。

4 「ハンズフリー」を選択

通話に利用するには「ヘッドセット」や「ハンズフリー」を、音楽再生などに利用するには「オーディオ」を選択します。

Bluetooth機器と接続する

1 待受画面で  LifeKit ▶ Bluetooth ▶ 登録機器リスト

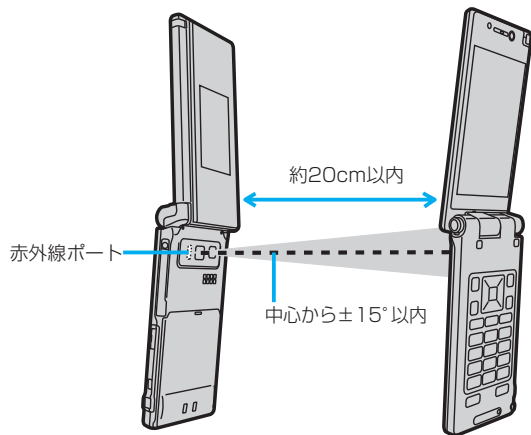
2 Bluetooth機器を選択 ▶ 接続するサービスを選択

赤外線通信を使ってデータを送受信する

FOMA端末はIrMC™バージョン1.1規格に準拠していません。

赤外線通信機能を持つ機器との間で電話帳などのデータを送受信できます。ただし、相手機器によっては送受信できないデータがあります。

- 受信側を先に設定し、30秒以内に送信側の送信を開始します。



■ データを送信する

1 送信したいデータの機能メニュー

▶ 赤外線送信

- データによっては操作が異なる場合があります。

2 「YES」を選択

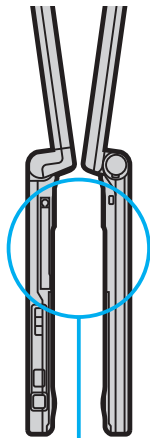
■ データを受信する

1 待受画面で LifeKit ▶ 赤外線受信 ▶ 受信

2 「YES」を選択

iC通信を使ってデータを送受信する

iC通信とは、FeliCaリーダー／ライター機能を利用して他のFOMA端末と電話帳などのデータを送受信できる機能です。ただし、相手のFOMA端末によっては送受信できないデータがあります。



☞マークどうしを向き合わせます。

■ データを送信する

1 送信したいデータの機能メニュー

▶ iC送信

- データによっては操作が異なる場合があります。

2 「YES」を選択

■ データを受信する

1 待受画面を表示した受信側端末の☞マークと送信側端末の☞マークを向き合わせる

2 「YES」を選択